

2017年(平成29年)8月10日(木)

## 「ちゃんかけ」でモザイク 三島でワークショップ

「ちゃんかけ」と呼ばれる源兵衛川に捨てられた茶わんのかげらを拾い、張り合わせてモザイク作品を作るユニークなワークショップ「ちゃんかけオブジェ」が8日、三島市で開かれた一写真。環境保護と芸術活動を兼ねた取り組み。小学生ら15人が参加した。

三島市のNPO法人「グラウンドワーク三島」と、ふじのくに子ども芸術大学実行委員会の共催。水の豊かな三島の象徴になってい

る源兵衛川は、一時ドブ川のように汚染されていたが、ちゃんかけ

拾いなどの市民活動でよみがえらせた歴史がある。

この日は子どもたちが川でちゃんかけを拾った後、事前に集めたちゃんかけも素材にし



てモザイク作りに取り組んだ。個人個人の作品のほか、ミシマバイカモを育てている施設「三島梅花藻の里」にかける「三島お魚水族館」の看板を協力して作った。

裾野市立南小4年の繁井琢磨さんは、青のかげらで川を、白のかげらで魚を表現した。「ちゃんかけ拾いも作品作りも楽しかった」。作品作りを指導した東京芸術大大学院博士課程、谷本めいさん(25)は「川をきれいにする上、三島が積み重ねた歴史を作品にできるすごいワークショップ」と話した。【石川宏】